

国際理解講話：「外務省での仕事」

本校の卒業生で、3月末まで外務省の中・東欧課に勤務していた高丸さんから、様々なお話を聞かさせていただきました。高丸さんは7月からヨーロッパに渡り、2年間の語学留学を経て、現地の大使館に勤務されます。以下はお話の内容です。

1. 一宮西高校での高校生活
2. 大学生活
 - ・ 英語・スペイン語・国際法について学ぶ
 - ・ ドイツ留学
 - ・ 模擬国連への参加
3. 外務省専門職員について
 - ・ 就職試験
 - ・ 1年目の本省勤務
 - ・ 2年目以降の在外研修と在外公館での勤務
4. 外務省のウクライナ関連業務
 - ・ ウクライナ・ロシアの情報収集
 - ・ 現地日本人の保護・退避の手配
 - ・ ウクライナへの物資援助、対ロシア制裁
 - ・ ゼレンスキー大統領（ウクライナ）の国会演説
 - ・ 国会（議員）対応、記者会見準備



《5期生の感想の一部》

- ・ 今回のお話を聞いて、外務省の仕事にすごく興味が湧いた。ニュースでみていることに、外務省の方がどの様に関わっているかを知ることができて、改めてやりがいのある仕事だとわかった。
- ・ 外務省の仕事は大変で、決してキラキラしたものではないということがわかりました。でも、首脳会談や記者会見、国会答弁などの裏で職員の方々が大きく貢献しているのだということがわかりました。
- ・ 受験勉強だけでなく、コミュニケーション力や意見をまとめる力などが大切だと感じた。国際理解コースではグループワークをする機会が多いので、自分から多くの意見を出したり、皆で話し合ったことをまとめたりする力をつけていきたい。
- ・ 国際理解コースに入って、いろいろな世界で勉強したり働いたりしている方たちのお話を聞くことができる。こんな機会がたくさんもらえて、恵まれていると思ったり、改めて勉強を頑張ろうと思えた。今年的一年間で、言語力をつけるとともに、視野を広げていきたい。
- ・ 私はずっと、将来は国際機関で働きたいと思っていたので、高校卒業から就職までの一番気になることを聞くことができうれしかったです。そして今まで以上にこの気持ちが大きくなりました。これから自分の夢を叶えるためにもっと頑張ろうと思えました。
- ・ ウクライナのために働いている方のお話をきくことができ、とてもうれしかったです。
- ・ 留学したいという気持ちが強くなった。でも、留学した先で言語以外に何を学びたいのかも考えなければならなかった。日本の外のもっと広い世界を見たい。そのためにもっと今、勉強しなければと思った。
- ・ ウクライナ戦争に対して日本が行っていることに携わっていた方のお話が聞けてとても贅沢な時間でした。
- ・ 高丸さんが西高出身ということで、留学や外務省の仕事などを身近に感じることができました。
- ・ 将来、看護留学をしたいと思っていました。今回の話を聞いて、その思いが強くなりました！
- ・ 外務省への就職試験は、二回目の大学受験だといわれていた。今の勉強もコツコツやっていきたい。
- ・ 高丸さんがおっしゃられていたように、ワクワクする人生の選択ができるようになりたい！

高丸さんが一宮西高校出身ということもあって、留学や外務省での仕事をより身近に感じることができたようです。そして夢を叶えるためには、強い意志とたゆまぬ努力が大切であることも実感できたようです。

夢を持っている人はもちろん、夢がまだないという人も、世界は自分で広げていくものです。西高国際理解プログラムでは、海外で仕事をしてきた方の講演、英語で自分の意見を言えるようにする授業や行事、外国の高校生との交流、海外大学に進学した日本人学生によるオンライン報告会など様々な行事を企画しています。

自分の世界を広げたいと考えている皆さん、参加をお待ちしています！